



23

いにしえの心を訪ねる
平家物語／扇の的——「平家物語」から

ねらい

- ① 古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムを味わおう。
② 古典に描かれた状況や人物の心情を読み取ろう。

☑ ウォーミングアップ



「平家物語」＝鎌倉時代に成立した軍記物語。琵琶法師によって語り継がれる。

・内容 栄華をきわめた平家が源氏との抗争に敗れて滅亡していくありさまを描いている。和文に漢語を交えた簡潔で力強い文体で書かれている。

■ 構成

冒頭	扇の的	弓流し
・ 栄えるものは必ず滅びるといふ仏教の無常観を述べている。 ・ 場面Ⅱ源義経に攻められた平家が舟で海上に逃れ、源氏が陸にいて、平家と源氏が相対している場面。 ・ 登場人物Ⅱ那須与一（弓矢の名手） ・ 出来事Ⅱ那須与一が、平家の舟の舟端に立てられた、風にひらめく扇の的をみごとに射落とした。 「これを射損ずるものならば……この矢はづさせたまふな」 ↓源氏の名譽のために命懸けで取り組む覚悟。	・ 場面Ⅱ源義経の弓がはずみで平家に引っ掛けられ、海に落とされた場面。 ・ 登場人物Ⅱ源義経 ・ 出来事Ⅱ義経が命懸けで自分の弓を拾った。 「これこそ源氏の……命にかへて取るぞかし」↓武士としての誇り。	

「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

① である。

② 「扇の的」は、弓の名手の

て難題に取り組んだときの様子や心情を軸に描かれている。

が源氏の名譽をかけ

物語

▼ 漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

① 手綱を引く。 () ② 舟で島に渡る。 ()

③ 面を上げる。 () ④ 突如として姿が消えた。 ()

⑤ 聞くに堪えない話。 () ⑥ 故人の逸話が語られる。 ()

⑦ 黒革おどしの鎧を着る。 () ⑧ 八十余騎で戦う。 ()

⑨ 他人の失敗を嘲笑するな。 () ⑩ 陣を構える。 ()

2 線の片仮名を漢字で書きなさい。

① オウギをかざす。 () ② 落ち葉が川面をタダヨウ。 ()

3 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の——線部の語句を現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。

□① をりふし

□② ひやうど放つ。

□③ くれなる

□④ 弓のやうならば

□⑤ いづれ

□⑥ さつと

□⑦ いふぢやう

□⑧ 揺りすゑ

(2) 次の——線部の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

□① 物語を読み終わり、感に堪えない。

ア 感動を抑えきれない。

イ 怒りを抑えきれない。

ウ つらさをこらえきれない。

エ 悲しみをこらえきれない。

□③ ワズかの差で勝利する。

□④ 壇のウラの決戦。

□⑤ アラシになる。

□⑥ オしいところで敗れた。

□② 敵の行動を見て、嘲笑する。

ア ちよつと笑う。

イ しかたなく笑う。

ウ 大声でどつと笑う。

エ ばかりに笑う。

□③ 病人にとっては心ない言葉だ。

ア 手ごたえがない。

イ 思いやがない。

ウ 風流がない。

エ 分別がない。

□④ 哀れにおぼしめす。

ア お決めになる。

イ 命令を下される。

ウ お思いになる。

エ 我慢される。

(3) 次の意味をもつ二字熟語を、後の□の中の漢字を組み合わせて書きなさい。

□① 敵の不意をついて攻撃すること。

□② 人の申し出を断ること。

□③ かならず減びること。

□④ 何の前触れもなく、だしぬけに物事が起こること。

□⑤ この世の全てのものは、常に移り変わり、不変なものなど何一つないということ。

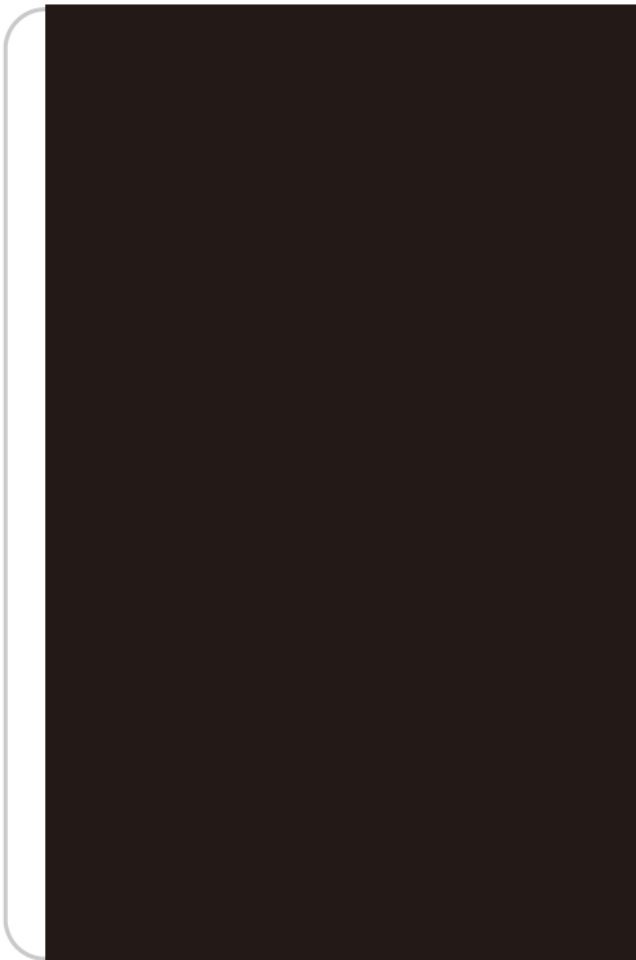
奇 無 退 衰 突
辞 常 必 襲 如



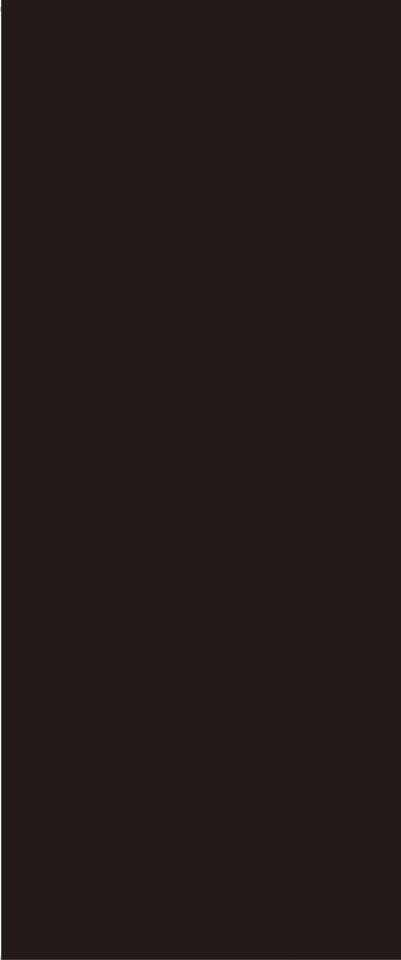
練習問題 1

1 教科書 P. 140
2 教科書 P. 148 Q. 1 ~ P. 149 Q. 2

1 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。



2 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。



□ (1) □に入る言葉を古文中から五字で書き抜きなさい。

(2) この古文で特徴的に用いられている表現技法を次のうちから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 反復 イ 擬人法 ウ 倒置
エ 対句 オ 直喩 □ () □ () ()

□ (3) この文章は『平家物語』の冒頭ですが、この部分に書かれていることを説明したものとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 強い者は必ず栄えるという武士道。
イ 消えゆくものこそが美しいという自然観。
ウ 人生ははかないものだという無常観。
エ 人は謙虚に生きるべきだという人生観。
() ()

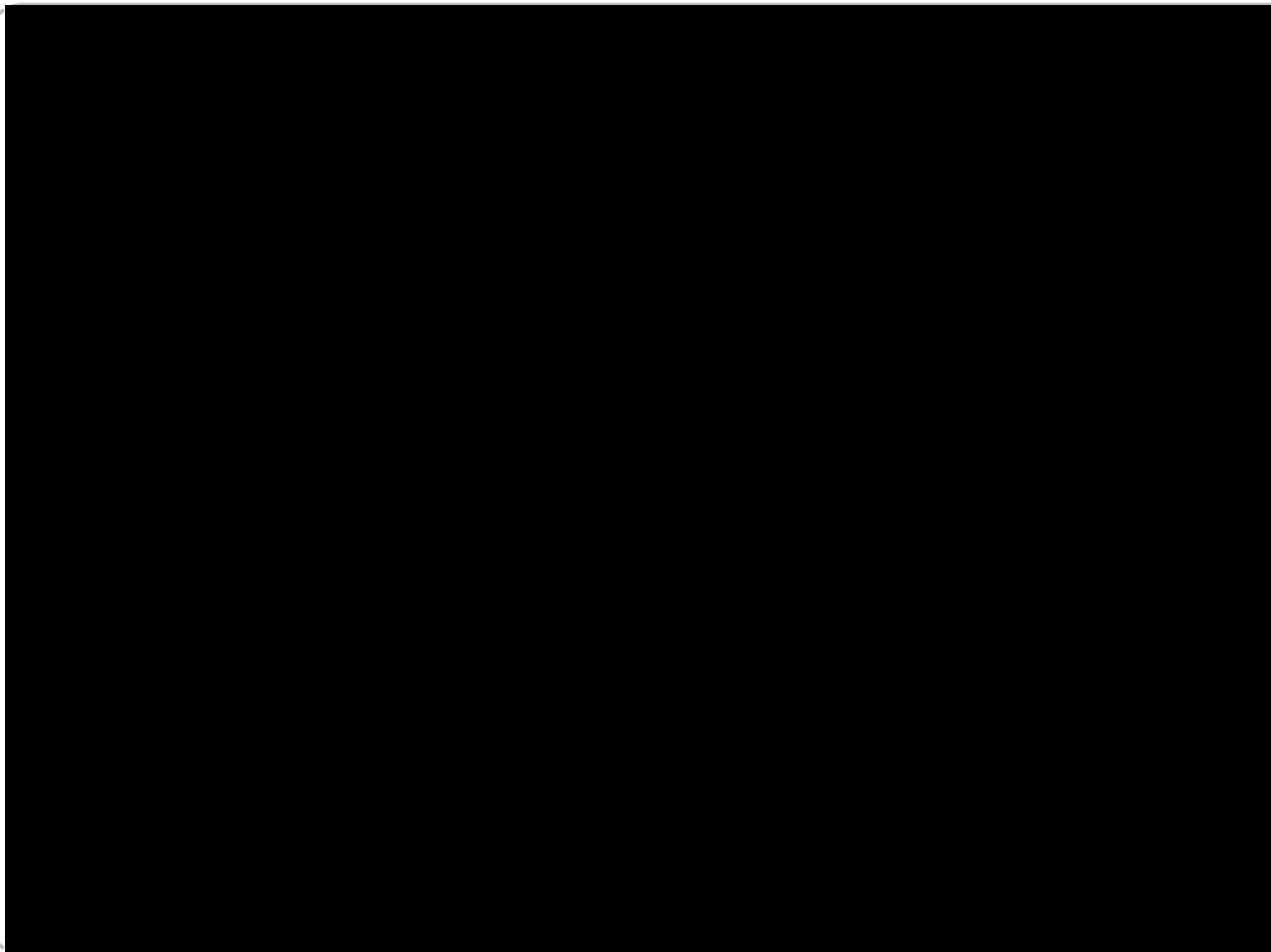
(1) ~~~~~線 A・B の読みを現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。

- A 揺りすゑ □ B はづせたまふな

(2) ———線①「舟を一面に並べて見物す」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□ Ⅰ どちらの勢力が舟を一面に並べて見物しているのですか。古文中から二字で書き抜きなさい。

□ Ⅱ 何を見物しているのですか。二十字以内で書きなさい。



(3) — 線②「いづれもいづれも」とは、具体的に何を指していますか。古文中から二つ、それぞれ二字で書き抜きなさい。

(4) — 線③「与一」は、どちらの勢力の人ですか。古文中から二字で書き抜きなさい。

(5) — 線④「扇も射よげにぞなつたりける」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

Ⅰ 「扇も射よげにぞなつたりける」の意味を現代語訳中から書き抜きなさい。

Ⅱ 扇を射ようとする与一の気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 風を収めることで得た自尊心を、扇を射抜くことでさらに深めたい。
 イ 故郷の神々のためにも扇を射抜き、もう一度故郷に帰りたい。
 ウ 全ての見物人を満足させるために、どうしても扇を射抜きたい。
 エ 武士としての名誉と自分自身の命を懸け、どうしても扇を射抜きたい。

()

(6) 対句表現が用いられているひと続きの二文を古文中から探し、その初めと終わりの四字を書き抜きなさい。



練習問題 2

教科書 P. 149
L. 3 ~ P. 151
L. 2

1 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

□(1) — 線①「小兵といふぢやう」の読みを現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。

(2) 古文の中で用いられている擬声語・擬態語を四つ書き抜きなさい。

□(3) — 線②「浮きぬしづみぬ揺られければ」の主部を古文中から書き抜きなさい。

(4) 対句表現が用いられている部分を古文中の「」の中から二つ探し、それぞれの初めの五字を書き抜きなさい。

□(5) — 線③「あまりのおもしろさに」とありますが、誰がどうしたことがおもしろかったのですか。

□(6) — 線④「うちくはせ」と同じような意味の言葉を古文中から三字で書き抜きなさい。

□(7) — 線⑤「射倒す」とありますが、与一が「年五十ばかりなる男」を射倒したのは、どんな命令を受けたからですか。古文中から五字で書き抜きなさい。

(8) — 線⑥「平家の方には音もせず」とありますが、このとき、平家の人々は源氏の行為にどんなことを感じていたと考えられますか。適切なものを次のうちから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 勇気 イ 非情さ ウ 情趣
エ 優雅さ オ 無風流さ □() □() □()

□(9) 色彩の鮮やかさが目に浮かぶような効果を意識して書いていると考えられる部分を、古文中から書き抜きなさい。

□(10) — 線⑦「あ、射たり」と言ったのは、どちらの勢力の人ですか。古文中から二字で書き抜きなさい。

定期テスト対策

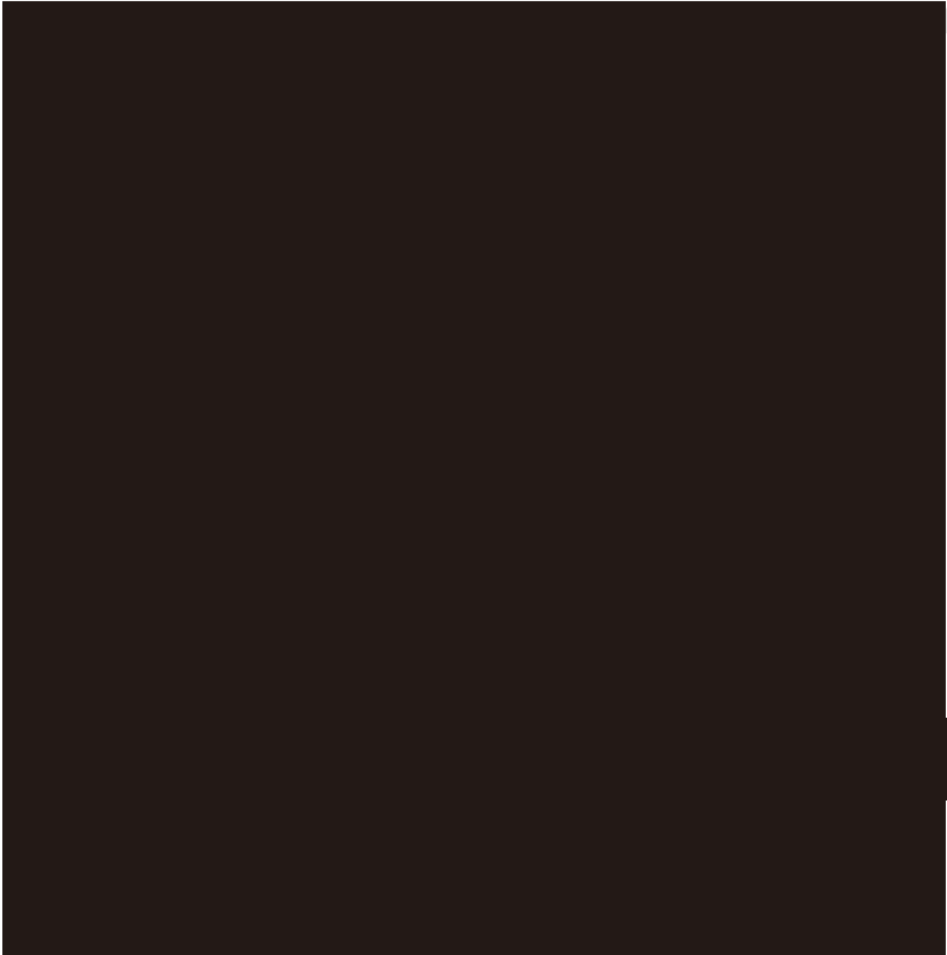
教科書 P 140～153

実施時間のめやす ↓ 20分

得点

／ 100点

Ⅰ 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。



(1) — 線①「よつぴいてひやうど」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ「よつぴいてひやうど」の読みを現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書

きなさい。(3点)

Ⅱ「ひやうど」と同じ擬声語を古文中から二つ書き抜きなさい。(4点×2)

□

□

□(2) 与一が弓の名手であることがわかる表現を古文中から三十字で探し、その初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(完答8点)

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(3) — 線②「沖には平家……どよめきけり」と同じ表現技法が用いられている一文をこれより前の古文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。

(5点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(4) — 線③「年五十ばかりなる男」が舞を舞った理由を十五字以内で書きなさい。(10点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(5) — 線④「御定」とは、どんなことですか。その内容を具体的に書きなさい。(5点)

□

□ (6) — 線⑤「情けなし」と言った人の気持ちを三十五字以内で書きなさい。

(10点)

[illegible]

2 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

〔原文は『平家物語』（新編日本古典文学全集45・46）による〕
 （『扇の的——「平家物語」から』）

□(1) 線①「為朝が弓のやうならば」とありますが、為朝の弓はどんな弓だと言っているのですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。(5点)

ア 張りの強い弓。
イ 高価な弓。
エ 大切な弓。
ウ 有名な弓。

□(2) 線②「命にかへて取るぞかし」とありますが、義経が命懸けで弓を拾ったのはなぜですか。(8点)

□(3) 老臣たちが命を最も大切に考えているのに対し、義経は何を大切だと考えていますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。(8点)

ア 武士としての戦績。

イ 武士としての品位。

ウ
武士としての名誉めいよ。

工 武士としての意地。

③ 次の——線の読み仮名を平仮名で、片仮名を漢字で書きなさい。(3点×10)

□ ① 痛みに堪える。 () □ ② 手綱を取る。 ()

☐ ③ 面を上げる。 ()
☐ ④ 嵐の前の静けさ。 ()

（ ）
☐ ⑤ 突然男が現れた。
 （ ）

（ ）
☐ ⑥ 話がイッダツする。
 （ ）

☐ ⑦ ジンを構える。 () ☐ ⑧ ワズかな差。 ()

☐ ⑨ オウギであおぐ。

(
 ☐ ⑩ イツキ当千。